## 令和6年度

#### 変わる! 化学物質管理

## ■通所制■

衛生工学衛生管理者は化学物質管理専門家の要件に相当

# 衛生工学衛生管理者講習

有害なガス、蒸気、粉じん等の有害因子を発散する作業場には、作業環境を改善するために、それら有害因子の 発散を抑制するための衛生工学的対策が必要です。

また、このような有害業務を有する一定の事業場では、労働安全衛生規則第7条第1項第6号の規定により、衛生管理者のうち一人を、衛生工学衛生管理者免許を受けた者の中から選任することが義務づけられています。

本講習を受講し、カリキュラム中の修了試験に合格した修了者には修了証が交付され、その後、修了者の住所を管轄する都道府県労働局長に免許申請することにより、衛生工学衛生管理者免許を取得できます。

なお、衛生工学衛生管理者免許取得者は<u>すべての事業場において、労働安全衛生法第12条でいう衛生</u> 管理者として選任することが可能です。

※ この講習は衛生工学衛生管理者免許を取得するための要件である都道府県労働局長の登録を受けた者が 行う講習として、近畿安全衛生サービスセンターが実施するものです。

## ■受講資格·受講料

	受講資格要件	講習科目	講習期 間(例)	受講料
1	第1種衛生管理者免許試験に合格した者 (平成元年9月以前の衛生管理者免許試験を含む。なお、保健師・薬剤 師の資格による免許取得者は対象外)	労働衛生工学に関する知識	O □ 88	99,000円
2	学校教育法による大学において保健衛生に関する学科を専攻して卒業 した者であって、労働衛生に関する講座又は科目を修めた者(指定され た大学学科のみ)	職業性疾病の管理に関する   知識 	3日間	(10%税込)
3	第1種衛生管理者免許試験に合格した者でかつ 作業環境測定士となる資格を有する者	職業性疾病の管理に関する 知識	1日	33,000 円 (10%税込)

<sup>※</sup>上記の③に該当する方は、科目の免除があります。 ※受講料にはテキスト代、資料代、消費税を含みます。

## ■開催日

第40回 令和6年 6月 5日(水) ~ 7日(金) 第41回 令和6年 8月28日(水) ~ 30日(金) 第42回 令和6年 10月 9日(水) ~ 11日(金) 第43回 令和6年 12月 4日(水) ~ 6日(金) 第44回 令和7年 2月 5日(水) ~ 7日(金)

■お問合せ・申込書送付先(申込は、郵送にてお願いします。)

〒550-0001 大阪市西区土佐掘 2-3-8 中央労働災害防止協会 近畿安全衛生サービスセンター TEL 06-6448-3450 FAX 06-6448-3477

### ■申込要領

1. 申込書にご記入のうえ、受講票部分に写真を貼付し、資格確認証明書類を添えてご郵送ください。

#### 資格確認証明書類

- ●受講資格要件が②の場合
  - ⇒卒業証明書原本(大学学部、高専、大学校に限ります。大学院修了証は不可、コピー不可)
- ●受講資格要件が①又は③に該当する場合卒業証明書は不要です。 ⇒各試験合格証等(免許証・登録証・講習修了証など)のコピーを添付してください。 なお、受講初日にその原本を提示していただきますので必ずご持参ください。 提示がない場合は、修了証を発行できません(コピー不可)。

#### 写 真

- 縦 30mm、横 24mm のサイズで撮影した上三分身、正面脱帽の写真の裏面に氏名を記入のうえ、受講票の指定の位置に貼付してください。
- ※労働局への免許申請時に別途写真(同サイズ)が1枚必要となります。
- 1. 申し込み受付は先着順とし、定員(20名※変更する場合がございます)に達している場合は順次繰り下げて 受付いたします。空き状況の確認をされる場合は、電話にてお問合せください。 なお、予約は承りませんのでご了承ください。
- 2. 講習開催日のおおむね2週間前に、受講票及び受講・交通の案内等を送付いたします。

### ■注意事項

- ※ 結婚等により改姓され卒業証明書・修了証等と現在の姓が異なる場合は、戸籍抄本を添付してください。
- ※ ご記入の際は、必ずペン又はボールペンでご記入ください。鉛筆書きのものは受付いたしません。
- ※ 申込内容の変更(受講者の変更、受講の取消し又は受講時期の延期等)がある場合には、 直ちに書面(FAX)でご連絡ください。
- ※ 受講料にはテキスト代、資料代が含まれます。宿泊施設等の手配は行っておりませんのでご了解ください。

#### ■受講料のお振込み

当方より送付する「受付確認書」を確認後、開催2週間前までに下記口座へ受講料の振込みをお願いします。

三井住友銀行 大阪公務部(店番号045)

普通預金 0005323

中央労働災害防止協会 近畿安全衛生サービスセンター

※ 銀行発行の振込金受取書をもって領収書に代えさせていただきます。 振込手数料はお客様のご負担となります。

#### ■取り消し(キャンセル)について

\*キャンセル料については、次のとおりとさせていただきます。(返金の場合、振込手数料は貴社にてご負担願います。)

- ① 開講日から起算して7日前から開講日前日までの取消し →参加費の30%
- ② 開講日当日以後の取消し→参加費の100%

## ■講習日程 3日コースの例

第1日 (月)		9:30- 9:45 開講式 オリエン テー ション	職業性				加 職業性疾病。 休 憩	:25-12:45 D管理に関す (80分)	る知識 Ⅱ	12:45-13:4 昼食·休覧		職業性	13:45- 疾病の管理 (100	理に関す		15:25- 15:40 休憩	職業	15:40-17:10 性疾病の管理に関する (90分)	知識Ⅳ	休憩	17:20- 17:40 免許申 請手続 さについ て	17:40- 18:00 休憩 自習 (20)	18:00-18:25 試験Ⅲ 職業性疾症 (25)	
第2日 (火)	労働衛生 (作業環 (作業環境	9:00-10:3 生工学に関す 環境に関する 竟改善の具体 E的活動・危( 90分)	する知道 基礎知 本的進	1識) め方) (a	労働衛生 (作業環境) 業環境改善	エ学! -関す の具		12:00- 昼食・		労働衛生工 識 I (作業取 基礎知識)(f の具体的進 活動・危険	環境に関す 作業環境で め方)(自主	でる 文善 生的 ap		生工学に				15:45-17:05 生工学に関する知識I 装置等に関する基礎気 (80分)	1識) 1	7:05- 17:20 休憩			関する知識 I 関する基礎5 分)	
第3日 (水)	労働衛生工会 識Ⅱ(局所持 関する基 (60	-10:00 学に関する結 非気装置等に 基礎知識) ロ分)	休憩	労働衛生 識 II (局所 関する	D-11:10 二学に関する知 排気装置等に 基礎知識) 60分)		11:20-1 労働衛生工学に (作業環境測定の の評価 (70分	 関する知識Ⅲ )方法及びそ fi)		I−13:30 ·休憩	労働衛生	3:30-14:4 エ学に関す 境測定の方 の評価) (70分)	- る知識Ⅲ	休憩	14:55一 労働衛生工学 識IV(保護具I 礎知識及びそ 理) (60分	に関する に関する の保守	基体	16:05-16:55 労働衛生工学に関す る知識IV (保護具に 関する基礎知識及び その保守管理) (50分)	16	6:55-1 休憩 自習	Į.	部	10-18:30 线験Ⅱ 生工学(50)	

※ 科目の構成について、変更になる場合があります。

## ■近畿センターのご案内



<u>※地図は、ホームページに掲載しております。</u>https://www.jisha.or.jp/kinki/info\_1.html



#### (主) 肥後橋駅・淀屋橋駅から

【四ツ橋線「肥後橋駅」下車約600m・12分】 ③号出口より「アパホテル」を右手に見て土佐堀 通り沿いに西へ。「土佐堀1」交差点を過ぎて次 の信号

【御堂筋線「淀屋橋駅」下車約1000m・15分】 ⑥号出口より土佐堀通り沿いに西へ。アパホテル 以降は肥後橋駅からと同。

#### 中之島駅から

【中之島線「中之島駅」下車約600m・12分】 ⑥号出口より、なにわ筋沿いに南へ。「土佐堀 1」交差点を右折、次の信号

#### 福島駅・新福島駅から

【JR環状線「福島駅」下車約1200m・20分】 出口より、「ホテル阪神」を左手に見てなにわ筋 沿いに南へ。「玉江橋」を渡り「土佐堀1」交差 点を西へ。

【JR東西線「新福島駅」下車約1000m・15分】 ②号出口より、「郵便局」を左手に見てなにわ筋 沿いに南へ。玉江橋以降は福島駅からと同。

【阪神電車「福島駅」下車約1000m・15分】 西出口③より、「郵便局」を左手に見てなにわ筋 沿いに南へ。「玉江橋」を渡り「土佐堀1」交差 点を過ぎて次の信号

#### 大阪駅から (バス)

大阪駅より88系統「天保山行」または75系統 「なんば行」に乗車。「土佐堀1丁目」下車 西へ。【バス停より約100m・4分】

開催日程	□第 40 回 □第 42 回								28日(水)		8月30日 2月6日		<b>※</b> No.	
刑惟口性	□第 44 回						弗 43 E	山 12 月	4口(水,	)~ <sub>1</sub>	2月10日	(金)	*NO	•
	ふりがな							性別		3 H	昭和•平	成		
	氏 名							男・女	生年月	]		年	月	日生
. 受講者	現住所	〒 -					•							
	先生別	TEL (日中連絡の	)つく番号)						FΑ	X				
	所 属	会 社 事業場	• 名					部課	名					
	名 科													
. 申込者 (請求先)	所在地	<u>ı</u>	_											
(百月/パプロ/ ※個人の場合は 記入不要	TEL							FΑ						
iii)(1)	担当者 氏 名							担当所属語						
———— 受講賞	資格要件										the state on			※照
0 O=+ W-	- 7 立 =# 次 +6 ,	1		寄生管理マ お、保健ፅ							)衛生管理 )	者免許	試験を含	5
き、〇で囲っ		2		育法による 生に関する				上に関する	る学科を	専攻し	て卒業し	た者で	あって、	
	資格所有者は で囲ってくださ		第一種征	新生管理 オ	者免許詞	式験に合格	各した者	者でかつ、					 明書類を	
			作業環境	竟測定士る	となる質	資格を有っ	する者				- 必ず添	付して・	ください	_
	取得等年月 )場合は学校	م ا <sup>۱۱</sup>	. , ,	成・令和	1)	年	月	日 取	得・卒業	美				
工 00 只 10 4 4		լ , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	学校名他											
部、学科名														
				《害防止	協会会	長 殿		申請者	(受講者	f)氏/	名			即
学部、学科名を 年 (個人情報に	. 月 ついて> こ	日中	央労働災	後害防止 情報につき	きましては	は、当協会な		持って管理	型し、申込る	みいた:	だいたサー			のために
部、学科名を 年 個人情報に 用するほか、 することがあり	<ul><li>月</li><li>ついて&gt; こ</li><li>当協会が行う</li><li>ります。個人情</li></ul>	日中二二記入いたた	央労働ジ いた個人 ー、出版す 可用に <b>同意</b>	<ul><li>害防止</li><li>情報につき</li><li>る図書、コ</li><li>はされない場</li></ul>	きましては ンクール <b>場合は、</b> 右	t、当協会か への応募 <b>ものロにチ</b>	勧奨、アン ・ <b>ェックマ</b> -	持って管理 ンケートの <b>ーク(レ)を</b>	≝し、申込 <i>ā</i> ご案内、そ <b>ご記入くだ</b>	みいた: の他な	だいたサー公益的な観り	点からの <b>同意し</b>	情報 <u>の</u> 提 ない	のため! 供等に
部、学科名を存在の場合である。	. 月 ついて> こ 当協会が行う	日中ご記入いただ各種セミナー情報の二次を	央労働ジ いた個人 ー、出版す 可用に <b>同意</b>	<ul><li>害防止</li><li>情報につき</li><li>る図書、コ</li><li>はされない場</li></ul>	きましては ンクール <b>場合は、</b> 右	t、当協会か への応募 <b>ものロにチ</b>	勧奨、アン ・ <b>ェックマ</b> -	持って管理 ンケートの <b>ーク(レ)を</b>	≝し、申込 <i>ā</i> ご案内、そ <b>ご記入くだ</b>	みいた: の他な	だいたサー公益的な観り	点からの <b>同意し</b>	情報 <u>の</u> 提 ない	のため! 供等に
学部、学科名を 年 (個人情報に 用するほか、 することがあり 主意事項) を	三月 ついて> こ 当協会が行う ります。個人情 研修中におい	日中 活入いたた 各種セミナ 青報の二次 で研修の妨 ださい。	央労働ジ こいた個人 一、出版す 可用に <b>同え</b> げとなる行	集までは、また。 (集画など) (集画など	きましては ンクール <b>場合は、右</b> ど)や他 <i>の</i>	t、当協会だ への応募 <b>もの口にチ</b> の受講者の	勧奨、アン ・ <b>ェックマ</b> ・ ・迷惑とな	持って管理 ンケートの <b>ーク(レ)を</b> よる行為が ・・・金融機間	関し、申込。 ご案内、そ ご記入くだ 見られた場 見発行の振	かいた。 の他な <b>さい。</b> 場合にに 込受令	だいたサー公益的な観り	点からの <b>同意し</b> こだき、他 書に代え	情報の提 ない 多了証は3	のため! 供等にを を付しまっ
学部、学科名を存在のできます。 個人情報に用するほか、することがあり主意事項)を	三月 ついて> こ 当協会が行う ります。個人性 研修中におい のでご留意く	日中で記入いただ各種セミナー情報の二次をで研修の妨ださい。	央労働ジ こいた個人 一、出版す 可用に <b>同え</b> げとなる行	集までは、また。 (集画など) (集画など	きましては ンクール <b>場合は、右</b> ど)や他 <i>の</i>	t、当協会だ への応募 <b>もの口にチ</b> の受講者の	勧奨、アン ・ <b>ェックマ</b> ・ ・迷惑とな	持って管理 ンケートの <b>ーク(レ)を</b> よる行為が ・・・金融機間	関し、申込。 ご案内、そ ご記入くだ 見られた場 見発行の振	かいた。 の他な <b>さい。</b> 場合にに 込受令	だいたサー 公益的な観り は、退室いた 質証を領収	点からの <b>同意し</b> こだき、他 書に代え	情報の提 ない 多了証は3	のため! 供等に
部、学科名名 年間人情報に用するほか、することがあり主意事項)る	ついて> こ 当協会が行う ります。個人性 研修中におい のでご留意く	日中で記入いたた各種セミナー情報の二次をでいるがださい。	央労働ジ だいた個人 一、出版す 可用に <b>同</b> 類 げとなる行	(害防止 情報につきる図書、コ なれない場 る(暴言な	きましては シクール <b>場合は、4</b> ど)や他の	t、当協会だ への応募 <b>ちの口にチ</b> の受講者の 領収書に	勧奨、アン ・ <b>ェックマ</b> ・ ・迷惑とな	持って管理 ンケートの <b>ーク(レ)を</b> よる行為が ・・金融機問 なお、別	関し、申込。 ご案内、そ ご記入くだ 見られた場 見発行の振	かいた。 の他な <b>さい。</b> 場合には 込受令	だいたサー 公益的な観り は、退室いた 質証を領収	点からの <b>同意し</b> こだき、他 書に代え	情報の提 ない 多了証は3	のため! 供等にを を付しまっ
部、学科名を 年 個人情報に まするにとがあいまる 主意 事項) 社 意を 事 ない はん	ついて> こ 当協会が行う ります。個人性 研修中におい のでご留意く :書希望 ( 申込みされ ページ 口気	日中で記入いただ各種セミナー情報の二次をで研修の妨ださい。月ましたか	央労働ジ いた個人 一、出版す 可用に <b>同意</b> げとなる行 日まて	(害防止 情報につきる図書、コまされない場合(暴言な	きましては ンクール <b>場合は、そ</b> ど)や他の :望)	は、当協会ないの応募権 ちの口にチカ受講者の 領収書に	動奨、アン・ ・エックマー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	持って管理 ンケートの <b>ーク(レ)を</b> よる行為が ・・金融機問 なお、別	型し、申込。 ご案内、そ ご記入くだ 見られた場 見発行の振 引途必要な	かいた。 の他な <b>さい。</b> 場合には 込受令	だいたサー 公益的な観り は、退室いた 質証を領収	点からの <b>同意し</b> こだき、他 書に代え	情報の提 ない 多了証は3	のため 供等に を付しま・
部、学科名を 年間 人情報に 計するによがあい 主意事項) 正 請求	三月 ついて> こ 当協会が行う ります。個人性 研修中におい のでご留意く : <b>書希望</b> ( <b>申込みされ</b>	日中で記入いただ各種セミナー情報の二次をで研修の妨ださい。月ましたか	央労働ジ いた個人 一、出版す 可用に <b>同意</b> げとなる行 日まて	(害防止 情報につきる図書、コまされない場合(暴言な	きましては ンクール <b>場合は、そ</b> ど)や他の :望)	は、当協会ないの応募権 ちの口にチカ受講者の 領収書に	動奨、アン・ ・エックマー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	持って管理 ンケートの <b>一ク(レ)を</b> なる行為が ・・金融機間 なお、別	関し、申込。 ご案内、そ ご記入くだ 見られた場 見発行の振 引途必要な	みいた。 の他な <b>さい。</b>	だいたサー 公益的な観り は、退室いた 質証を領収	点からの <b>同意し</b> ただき、修 書に代え い。	情報の提ない	はいために、供等にきただきま
部、学科名名 年間人情報に関するほどがありまることがあります。事項) 正学見ており、「一本・一ム・「一本・一ム・「一本・一ム・「一本・一ム・「一本・一本・一本・一本・一本・一本・一本・一本・一本・一本・一本・一本・一本・一	ついて> こ 当協会が行う ります。個人性 研修中におい のでご留意く :書希望 ( 申込みされ ページ 口気	日中で記入いただ各種セミナー情報の二次をで研修の妨ださい。月ましたか	央労働ジ いた個人 一、出版す 可用に <b>同意</b> げとなる行 日まて	(害防止 情報につきる図書、コまされない場合(暴言な	きましては ンクール <b>場合は、そ</b> ど)や他の :望)	は、当協会ないの応募権 ちの口にチカ受講者の 領収書に	動奨、ア: エックマー )迷惑とな ついて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	持って管理 ンケートの <b>一ク(レ)を</b> る行為が ・・金融機関 なお、別 <b>雑誌等</b>	関し、申込。 ご案内、そ ご記入くだ 見られた場 見発行の振 は 講習	みいた。 の他な <b>さい。</b> 場合にに 込受令 方はご	だいたサーム益的な観点は、退室いた領証を領収をできる。	点からの <b>同意し</b> ただき、修 書に代え い。	情報の提ない	はいために、供等にきただきま
部、学科名を 年 個人情報に まするにとがあいまる 主意 事項) 社 意を 事 ない はん	コンス こう こう はます。個人 ft のでご 留意く i 書希望 ( 申込みされ ページ ロダ	日中で記入いただ各種セミナー情報の二次をで研修の妨ださい。月ましたか	央労働ジ いた個人 一、出版す 可用に <b>同意</b> げとなる行 日まて	(害防止 情報につきる図書、コまされない場合(暴言な	きましては ンクール <b>場合は、そ</b> ど)や他の :望)	は、当協会ないの応募権 ちの口にチカ受講者の 領収書に	動奨、ア: エックマー )迷惑とな ついて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	持って管理 ンケートの 一 <b>ク(レ)を</b> る行為が ・・金融機 なお、別 <b>雑誌等</b>	関し、申込。 ご案内、そ ご記入くだ 見られた場 見発行の振 引途必要な	かいた。 の他な <b>さい。</b>	だいたサーム益的な観点は、退室いた現証を領収を領収をできる。	点からの <b>同意し</b> ただき、修 書に代え い。	情報の提ない	のため 供等に を付しま とだきま
部、学科名名 年個人情報に用すること事項) では、まるのととする。とのでは、またのではでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのではでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またので	コンス こう こう はます。個人 ft のでご 留意く i 書希望 ( 申込みされ ページ ロダ	日中で記入いただ各種セミナー情報の二次をで研修の妨ださい。月ましたか	央労働ジ いた個人 一、出版す 可用に <b>同意</b> げとなる行 日まて	(害防止 情報につきる図書、コまされない場合(暴言な	きましては ンクール <b>場合は、そ</b> ど)や他の :望)	は、当協会ないの応募権 ちの口にチカ受講者の 領収書に	動奨、ア: エックマー )迷惑とな ついて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	持って <b>ドウ</b> ( <b>レ</b> )を <b>・・</b> なる行動は ・・なな <b>・・・なお</b> ・・なな <b>・・・なお</b> ・・なお ・・なお ・・なお ・・なお ・・な ・・な ・・な ・・な ・・な	型し、申込された場別を 見られた場別を 見られた場別を 見られた場別を は は は は は は は は は は に に に に に に に に に	みいた。 の他な きい。 過合に 過入方はご 他(	だいたサーム 益的な観点 は、退室いた 領証を領収を できる	点からの <b>同意し</b> ただき、修 書に代え い。	情報の提ぶい きせていた きせていた 裏面に まを記載	のため 供等に を付しま とだきま
部、学科名名 年 個人のここ事 請 て 一 所住 (会社課 の (会社課 の (会社課 の (会社課 の (会社課 の (会社課 の (会社課 の (会社) (会社) (会社) (会社) (会社) (会社) (会社) (会社)	コンス こう こう はます。個人 ft のでご 留意く i 書希望 ( 申込みされ ページ ロダ	日中で記入いただ各種セミナー情報の二次をで研修の妨ださい。月ましたか	央労働ジ いた個人 一、出版す 可用に <b>同意</b> げとなる行 日まて	(害防止 情報につきる図書、コまされない場合(暴言な	きましては ンクール <b>場合は、そ</b> ど)や他の :望)	は、当協会ないの応募権 ちの口にチカ受講者の 領収書に	動奨、ア: エックマー )迷惑とな ついて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	持ン <b>ケーク(レ)</b> が <b>雑誌等</b> 本 こ等すだ	型し、申込された場別を 見られた場別を 見られた場別を 見られた場別を は は は は は は は は は は に に に に に に に に に	みいた: の他なられる。 は	だいたサーム A 益的な観点 は、退室いが は、退室にが 頂証を領収が 連絡ください 受講し入 受けこ入	点からの <b>同意し</b> ただき、修 書に代え い。	情報の提 ない 正は る を は と と と と と に は に は に に は に に に に に に に に に に に に に	のため 供等に を付しま とだきま くださ に い い い い い い ら い ら い ら い ら い ら い ら い ら
部、学科名名 年 個別 は 1 日本 1	コンス こう こう はます。個人 ft のでご 留意く i 書希望 ( 申込みされ ページ ロダ	日中で記入いただ各種セミナー情報の二次をで研修の妨ださい。月ましたか	央労働ジ いた個人 一、出版す 可用に <b>同意</b> げとなる行 日まて	(害防止 情報につきる図書、コまされない場合(暴言な	きましては ンクール <b>場合は、そ</b> ど)や他の :望)	は、当協会ないの応募権 ちの口にチカ受講者の 領収書に	動奨、ア: エックマー )迷惑とな ついて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	持ン <b>一ク</b> (レ)為 機	関し、申込さ 東内、そだ 見られた場 見られた場 のでい人変 は 講習 世界でい人望の は は 一条でい人望の	かいた。 の他なさい。 適合にに 込みはこ 他( 当日に といっ といっ にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる	だいたサーム	点からの <b>同意し</b> ただき、修 書に代え い。	情報の提の提示では、 ない	のために 送付しま だだきま こ氏は、貼付 30mm 24mm
部、学科名名 年 個するこ事 請 て ー 本 所(住 社課をの記) 「生 工 地) 名名場入 所(住 社課の記)	コンス こう こう はます。個人 ft のでご 留意く i 書希望 ( 申込みされ ページ ロダ	日中で記入いただ各種セミナー情報の二次をで研修の妨ださい。月ましたか	央労働ジ いた個人 一、出版す 可用に <b>同意</b> げとなる行 日まて	(害防止 情報につきる図書、コまされない場合(暴言な	きましては ンクール <b>場合は、そ</b> ど)や他の :望)	は、当協会ないの応募権 ちの口にチカ受講者の 領収書に	動奨、ア: エックマー )迷惑とな ついて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	持ン <b>一ク</b> (レ)為 機	型し、申込された場 見られた場 見られた場 見を必 でいるな は ず に 係でい。 住 に に に に に に に に に に に に に に に に に に	かいた。 の他なさい。 適合にに 込みはこ 他( 当日に といっ といっ にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる	だいたサーム	点からの <b>同意し</b> ただき、修 書に代え い。	情報の提 ない 正は る を は と と と と と に は に は に に は に に に に に に に に に に に に に	のために 送付しま だ 名た付 MMM 名の 24mm 24mm
部、学科名名 年 個月する記事 請 て ー	ついて > こうけん で   こうけん	日中で記入いただ各種セミナー情報の二次をで研修の妨ださい。月ましたか	央労働ジ いた個人 一、出版す 可用に <b>同意</b> げとなる行 日まて	(害防止 情報につきる図書、コまされない場合(暴言な	きましては ンクール <b>持合は、4</b> ど)や他の 望) <b>新修会素</b>	は、当協会ないのにチークの関連者の関連を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	動奨、ア: エックマー )迷惑とな ついて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	持ン <b>ー</b> な : <b>権誌 本</b> こ等すだ※ごのい <b>でのを</b> が 機別 要 の関のさ個希欄。	型し、東内、た場場 は 「係でい人望は 「係でい人望は 「係でい人望は 「係でい人望は 「係でい人望は 「係でい人望は 「係でい人望は 「の空 「の空 と 「の空 と 「の空 と 「の で 「の で 「の で 」 「 の で 「 の で 」 で し 、	かいた。   おいの他の   ない。   さい。   はい。   はい	だいたサーム	点からの <b>同意し</b> にだき、修 書に代え か。	情報の提出でいた。 ことは、ことは、ことは、ことは、ことは、ことは、ことは、ことは、ことは、ことは、	の た に に に に に に に に に に に に に
部、学科名名 年 個するこ事 請 て ー 本 所(住 社課をの記) 「生 工 地) 名名場入 所(住 社課の記)	ついて > こうけん で   こうけん	日中で記入いただ各種セミナー情報の二次をで研修の妨ださい。月ましたか	央労働ジ いた個人 一、出版す 可用に <b>同意</b> げとなる行 日まて	(害防止 情報につきる図書、コまされない場合(暴言な	きましては ンクール <b>持合は、4</b> ど)や他の 望) <b>新修会素</b>	は、当協会ないの応募権 ちの口にチカ受講者の 領収書に	動奨、ア: エックマー )迷惑とな ついて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	持ン <b>一</b> な : <b>雑</b>	型し、案記れた場場途 <b>日本の</b> 「保でい人望は 先 所資、 にの空 ・ 中 大 で は 所資 ・ 一 で は 一 の で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ ・ 一 で ・ ・ 一 で ・ ・ 一 で ・ ・ ・ 一 で ・ ・ ・ ・	サいた: かい他な。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい	だいたサース は、退を領域を は、退を領域を を を を を を を を を を を を と と で を の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	点からの <b>同意い</b> にだき、修 <b>受付</b> でき、修 でき、修 でき、修 でき、修 でき、修 でき、修 でき、修 でき、修	情報	の た に は に に に に に に に に に に に に に
等部、学科名名 年 (個用す主) 「「「大」」 「「大」」 「「大」」 「「大」」 「大」」 「大」」 「大」	ついて > こうけん で   こうけん	日中に合うでは、日本ので	央 労働 が	情報につきる図書、コはされない場合(暴言なる)を受けるので	きましては ンクール <b>持合は、4</b> ど)や他の 望) <b>新修会素</b>	は、当協会を持ちの口にチーク 領収 日本 様	動奨、ア: エックマ- ン迷惑となっいて・・ グ防の	持ン <b>一</b> な : <b>雑 本</b> こ等すだ※ごのい 合 L T T T T T T T T T T T T T T T T T T	型し、案記れた場場途 <b>日本の</b> 「保でい人望は 先 所資、 にの空 ・ 中 大 で は 所資 ・ 一 で は 一 の で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ ・ 一 で ・ ・ 一 で ・ ・ 一 で ・ ・ ・ 一 で ・ ・ ・ ・	サいた: かい他な。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい	だいたサな観点 は、	点からの <b>同意い</b> にだき、修 <b>受付</b> でき、修 でき、修 でき、修 でき、修 でき、修 でき、修 でき、修 でき、修	情報	の た に に に に に に に に に に に に に
<ul> <li>・部、学科名名</li> <li>・毎</li> <li>・日本</li> <li>・日本&lt;</li></ul>	ついて > こうけん で   こうけん	日中におきたちにおいただされていたがられていた。日本のではいい。日本のでは、日本ので	央労働ジ いた個人 一、出版す 可用に <b>同意</b> げとなる行 日まて	(害防止 情報につきる図書、コまされない場合(暴言な	きましては ンクール <b>持合は、4</b> ど)や他の 望) <b>新修会素</b>	は、当協会を持ちの口にチーク 領収 日本 様	動 奨、ア・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ	持ン <b>一</b> な : <b>雑 本</b> こ等すだ※ごのい 合 L T T T T T T T T T T T T T T T T T T	型し、案記れた場場途 <b>日本の</b> 「保でい人望は 先 所資、 にの空 ・ 中 大 で は 所資 ・ 一 で は 一 の で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ ・ 一 で ・ ・ 一 で ・ ・ 一 で ・ ・ ・ 一 で ・ ・ ・ ・	サいた: かい他な。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい	だいたサな観点 は、	点からの <b>同意い</b> にだき、修 <b>受付</b> でき、修 でき、修 でき、修 でき、修 でき、修 でき、修 でき、修 でき、修	情報	のためにませた。 で供付しませた。 だ 名た付mm 身帽 ンタイン・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ショ
学科名名 年 () 開す注 () <b>す</b> () 日本 ()	月ついて会が個人いで会が個人いで会が個人に留意ではいる。 中でででいる。 中でででいる。 中でででいる。 中心でではいる。 中心ででする。 中心ででする。 中心ででする。 中心ででする。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でででできる。 でできる。 ででできる。 ででできる。 でででで。 ででできる。 ででででででででででででででででででで	日中におきたちにおいただされていたがられていた。日本のではいい。日本のでは、日本ので	央 労 個 版 可 が 日 に	情報につきるは、は 情報につきるは、は はされない。 はされない。 はこうに はこうに はこうに はこうに はこうに はこうに はこうに はこうに	きましては ンクール、 <b>4</b> ど)や他の ・望)	は、 <b>への</b> に 当の <b>のにま</b> のの間者 書 受 年 会	<b>勧奨、アマー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</b>	持ン <b>一</b> な : <b>雑 本</b> こ等すだ※ごのい 合 L T T T T T T T T T T T T T T T T T T	型し、案記れた場場途 <b>日本の</b> 「保でい人望は 先 所資、 にの空 ・ 中 大 で は 所資 ・ 一 で は 一 の で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ 一 で ・ ・ 一 で ・ ・ 一 で ・ ・ 一 で ・ ・ ・ 一 で ・ ・ ・ ・	サいた: かい他な。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい	だいたサース は、	点からの <b>同意い</b> にだき、修 <b>受付</b> でき、修 でき、修 でき、修 でき、修 でき、修 でき、修 でき、修 でき、修	情報	の の の た に に に に に に に に に に に に に
学部、 学科名 ( 神) (	月 つい協す。 では ができる。 では でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで	日中におきたちにおいただされていたがられていた。日本のではいい。日本のでは、日本ので	央 労 個 版 可 が 日 に	情報につきるは、は 情報につきるは、は はされない。 はされない。 はこうに はこうに はこうに はこうに はこうに はこうに はこうに はこうに	きましては ンクール、 <b>4</b> ど)や他の ・望)	は、 <b>への</b> 同講 書 <b>内</b>	<b>勧ェ)光</b> つい <b>グ 防 の</b> 注	持ン <b>一</b> な : <b>雑 本</b> こ等すだ※ごのい 合 L T T T T T T T T T T T T T T T T T T	型し、案 <b>記</b> れた場 見、名 <b>だ</b> 見、名 <b>だ</b> 見、名 <b>だ</b> 見、名 <b>だ</b> 見。名 名 必 る る る る る る る る る る る る る る る る る	サいた: かい他な。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい	だいたサース は、	点からの <b>同意い</b> にだき、修 <b>受付</b> でき、修 でき、修 でき、修 でき、修 でき、修 でき、修 でき、修 でき、修	情報 の提び で は で は で は で で は で で で で で で で で で で	の の の た に に に に に に に に に に に に に
<ul><li>部、</li><li>管部、</li><li>管理を</li><li>行用する</li><li>意理</li><li>見ホ</li><li>生在</li><li>在</li><li>在</li><li>在</li><li>会部(合は 不 担 氏 受 回 を )</li><li>を</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li></ul>	月 つい協す。 では ができる。 では でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで	日中におきたちにおいただされていたがられていた。日本のではいい。日本のでは、日本ので	央 労 個 版 可 が 日 に	情報につきっぱない。 たいはない 中災防の で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	きましては ンクール、 <b>4</b> ど)や他の ・望)	は、 <b>への</b> 同講 書 <b>内</b>	<b>動工迷っつ グ 防</b> 注	持ン <b>一</b> な	型し、案 <b>記</b> れた場 見、名 <b>だ</b> 見、名 <b>だ</b> 見、名 <b>だ</b> 見、名 <b>だ</b> 見。名 名 必 る る る る る る る る る る る る る る る る る	サいた: かい他な。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい	だいたサロス は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	点からのし、修 <b>同意</b> と、	情報 の提び で は で は で は で で は で で で で で で で で で で	の供 で だ